

**DANLEY**

DANLEY'S VISION

**最高のサブウーファーとラウドスピーカーを創る**

Danley Sound Labsでは、既存の設計の焼き直しではなく、ユニークなラウドスピーカーを製造しています。ラウドスピーカーメーカーは通常、自社製品についてあらゆる種類の主張をします。私たちの競合他社の多くは、主観的な誇張や性能の約束に溢れていますが、私たちはそのような群衆に従うことはありません。私たちのラウドスピーカーの中身を見るために、マジックの向こう側、グリルの向こう側を見ることをお勧めします。

Danleyは、他の誰とも違うキャビネットを設計しています。私たちの仕様は、独立した研究所によって確認されています。技術だけでは十分ではありません。Danleyを体験し、競合製品と比較することで、これまで聴いた中で最高のラウドスピーカーを決定してください。


**SH FAMILY  
OF  
SPEAKERS**

物事を根本から変えてしまうようなアイデアを持つ人が、たまにいます。トム・ダンレーのSynergy Horn™は、そのようなアイデアの一つです。シナジーホーン™は、ラウドスピーカーが本来持つべき性能を発揮するラウドスピーカーを作ることが可能にしています。過去にホーンが廃れたのは、ホーンが本質的に音が悪いからではなく、実用的なフルレンジホーンを作る方法を誰も見つけられなかったからです。シナジーホーン™により、Danley Sound Labsは、位相が正確で、全カバーアングルで一貫したレスポンスを持つ、フルレンジの点音源ラウドスピーカーを作ることができます。

シナジーホーン™は、事実上すべてのDanleyフルレンジラウドスピーカーの中核をなしています。この技術により、異なる帯域幅の複数のドライバーを1つのホーンに収め、1つのフルレンジラウドスピーカーとして動作させることができるのです。

**TH FAMILY  
OF  
SPEAKER**

サブウーファーの役割はシンプルで、ローエンドを可能な限り正確に、そして効率的に供給することです。正確さは、音楽がそれに値するから。効率性は、地球が必要としているからです。

Tapped Horn Subwoofer™は、サブウーファーの進化における次のステップとなるものです。トム・ダンレーは、サブウーファー設計の革新で正しく知られています。彼のServodriveサブウーファーは、事実上一夜にして業界を変えました。そして、そのハードルは再び高くなったのです。Danley Tapped Hornシリーズのサブウーファーのどれかを聴いてみてください。サブウーファーに対する考え方が変わるはずですよ。

**Jericho series**

2010年にJ1-94で発表されたJerichoラウドスピーカーファミリーは、シングルソースの性能に関してラウドスピーカー界の頂点に立つ存在です。Jericho Horn™、シナジーホーン™、レイヤーコンパイナール™、タップドホーン™、その他中高域のコンパニング技術など、複数のダンレーの技術と特許を利用しています。この別世界のラウドスピーカーが、パワフルでクリアなオーディオを必要とする様々な会場やイベントで、高い評価と賞賛を得るには理由があります。実際、世界最大級のスポーツ会場では、最高のパワーと明瞭さが要求される場合、DanleyのJericho製品が信頼されています。ラウドスピーカーに真のパワーが必要となり、そして明瞭さを少しも損なわないとき、DanleyのJericho Hornに代わるものはないのです。


**SH series**

トム・ダンレーが特許を取得したSynergy Horn™は、オーディオビジネスを根本的に変えました。それは、ダンレーがフルレンジのシングルソースラウドスピーカーであり、位相が正確で、全カバーアングルで一貫したレスポンスを持つホーンの開発というコードを解読したためです。この進歩により、異なる帯域幅を持つ複数のドライバーを1つのホーンに組み込み、1つのフルレンジラウドスピーカーとして動作させることができるようになりました。このように、シナジーホーン™は、ピュアで純粋なサウンドを提供する画期的なソースとして、Danleyの定評ある世界的な名声を築いた礎のひとつです。この素晴らしい技術は、SHファミリーの各メンバーにも受け継がれています。独自のシングルソース技術によりフルレンジオーディオを実現したSHファミリーのラウドスピーカーは、あらゆるニーズをカバーするターゲットとなる鮮明なサウンドを提供します。

会場の規模や観客のニーズに関係なく、SHシリーズのラウドスピーカーはその役割を果たすことができます。



画像はイメージとなります。

## SM series

トム・ダンレーのシナジーホーン(Synergy Horn™)は、オーディオビジネスを根本的に変えました。ダンレーは、フルレンジ、ポイントソースラウドスピーカー、位相精度、全カバーアングルで一貫したレスポンスを持つホーンの開発コードを解読したのです。この進歩により、異なる帯域幅を持つ複数のドライバーを1つのホーンに組み込み、1つのフルレンジラウドスピーカーとして動作させることができるようになりました。この技術は、当社のすべてのシナジーホーン™ファミリーに搭載されています。

そして、DanleyのSMラウドスピーカーファミリーは、シナジーホーンファミリーの小型・軽量版と言えます。つまり、SMラウドスピーカーは、当社独自のシングルソース技術により、同じ透明度とフルレンジのオーディオを提供します。また、SMファミリーはそのサイズと重量から、さまざまな方法で素晴らしいサウンドを提供することができます。



## BC series

バウンダリーカップルド(BCホーン)は、Danley Sound Labsのユニークなサブウーファーアライメントで、最も要求の厳しいアプリケーションに耐えることができるものです。

多くのローエンドを持ち、箱数が少なく、アンプチャンネルが少ないBC Hornは、サブウーファーの新しいスタンダードです。

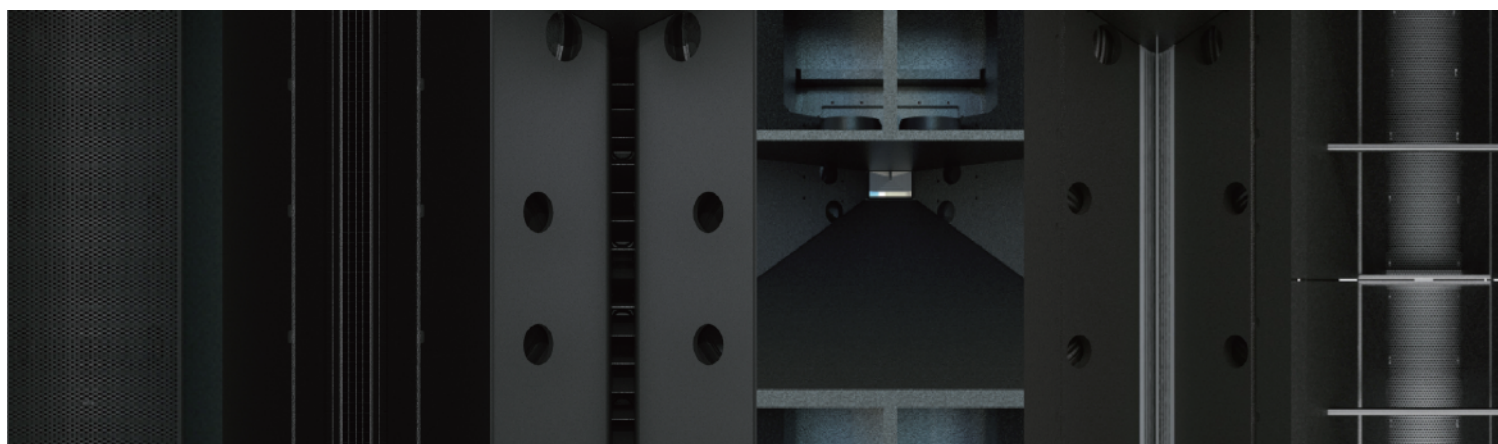


## TH series

効率、透明度、パワー - 特許を取得したTapped Horn™ サブウーファーは独自の設計で、物理的に小さなサブウーファーを作ることができ、特に低音域で非常に効率的で、通過帯域が非常にリニアであることがわかります。主観的には、THファミリーのサブウーファーは、一般的に非常に小さな箱から非常に深い低音を生成します。



画像はイメージとなります。



## Who is Tom Danley ?

## Tom Danley

Thomas J. Danley (1952年生まれ)は、アメリカのオーディオエンジニア、電気技師、発明家で、オーディオトランスデューサ、特に高直線性、高出力のプロ用ホーンラウドスピーカーシステムに関する複数の特許を保有している。1980年代に、コンサートツアーやテーマパークで超低周波を再生するための斬新なサーボモーター駆動のサブウーファーシステムで注目されるようになる。2000年にはマルチエントリーホーンの実装を進め、7台のドライバーのラウドスピーカー「SPL-td1」を筆頭に、いくつかのデザインを発表した。2005年には新会社Danley Sound Labsを設立し、さらなる技術特許を取得し、これらの技術に基づく様々なラウドスピーカーモデルを生産している。

DanleyはNASAの開発請負業者であるインターソニックス社で多くの装置を発明し、17件の特許を取得した。その中には、高出力音響浮揚機、BBNテクノロジーズが使用するソニックブーム発生器、ジョージア工科大学研究所とNASAがロケットペイロードの振動テストに使用するマルチエンクロージャーフロモジュレーターラウドスピーカーシステムなどがある。Danleyは1983年のスペースシャトルSTS-7と1984年のSTS-51-Aでペイロードの主要部品を設計および製作した。また彼は、サーボモーターをベースにしたラウドスピーカーを独自に実験し、3つ目のプロトタイプを勤務先に見せた。彼がこの技術を使ってコンサートやツアーの音響システム用のサブウーファー製品ラインを作る許可を求めたところ、インターソニックス社の社長Roy Whymarkは、その取り組みがインターソニックス社におけるDanleyの他の仕事に干渉しない場合に限り、許可することにした。Danleyはダブル・サブなど様々なモデルを設計したが、最も成功したのは折り畳みホーンのサブウーファーBassTech 7で、非常に優れたパフォーマンスを示した。ServoDriveはインターソニックス社のプロフェッショナルオーディオ部門となった。

BassTech 7は、1984年のマイケル・ジャクソンのスリラー・ツアーとU2のアンフォゲッタブル・ファイア・ツアーの北米公演でClair Brothersによって使用され、大好評を博す。Clairは通常、5ウェイ・システムの超低域拡張として、ボトムオクターブを埋めるために12台のBassTech 7を使用した。BassTech 7の他の大規模な購入者には、ヨーロッパと米国で約500台を購入したDisneyや、ラスベガスのホテルMirageとTreasure Islandがあり、特殊効果にBassTech 7が使用された。

1986年頃、コーネル大学からインターソニックス社に、ケニアでの象の鳴き声を再現するための低周波サブウーファー・ラウドスピーカーの依頼があった。アンボセリ象研究プロジェクトのJoyce Poole博士とKaty Payneは、スポーツ用多目的車の中に収まり、14Hzまでの強力な出力を持つカスタムラウドスピーカーを要求した。Danleyは、サーボモーターに接続された2つの15インチドライバーと4つの18インチパッシブラジエーターを備えたエンクロージャー「Pachyderm 6」を設計した。アンプから約200ワットの出力で、14Hzでの出力は約115dBと測定された。

Danleyは2005年に起業家のMike Heddenと提携し、アトランタ近郊のジョージア州ゲインズビルにラウドスピーカー会社、Danley Sound Labs (DSL) を設立した。

## DISTRIBUTER

## SALES

## RENTAL

## EASS INC.

〒106-0045 東京都港区麻布十番 3-1-5 ストック麻布 K&S 502  
info@eass.jp